

（信徒説教者課程）

## 基礎的神学Ⅱ

### 1. 目的

- ・受講者は、礼拝等の説教を行うために組織神学の基礎を繰り返し学び、身につける。

### 2. 進め方

- ・テキスト「神学の喜び」を読み進め、課題を考察することを通して組織神学の基礎を学ぶ。

### 3. テキスト／参考文献

（テキスト）

- ・新装増補改訂版 神学の喜び—はじめての人のための「キリスト教神学」ガイド  
アリスター・E・マクグラス著、芳賀力訳、キリスト新聞社、2017年

（参考文献）

- ・キリスト教神学第1巻～第4巻  
ミラード・J・エリクソン著、宇田進監修、安黒務他訳、いのちのことば社、2003～2006年

### 4. 課題等

（課題）

- ・課題は、一ヶ月に一つである。
- ・毎月 A、B の二つの課題のうち、基礎的神学Ⅰで選択しなかった課題について提出期限内に提出する。  
（3月のみ A、B、C の三つの課題のうちから基礎的神学Ⅰで選択しなかった課題一つ提出）
- ・A 4 三枚以内（これは最大枚数であり、二枚になっても問題ない）。
- ・課題の内容や提出期限については、7. スケジュールを参照。
- ・参考文献を用いた場合は必ず明記すること。
- ・課題で重要なことは、講師の意見と類似しているかどうかではなく、内容が論理的に構成されているかである。
- ・提出期限を過ぎること、指定枚数を越えることは減点対象となる。

（リーディング）

- ・リーディングとは、各月の指定されたテキストの範囲を読むことである。
- ・各月のテキストの範囲は7. スケジュールを参照。

（進捗状況の確認）

- ・進捗状況の確認とは、リーディングの進捗状況を担当者にメールで報告することである。
- ・受講者は担当者に読み終えたページを報告する。
- ・報告は月二回行う（報告日は7. スケジュールを参照）。ただし3月は一回のみ。
- ・報告日を過ぎることは減点対象となる。

（スクーリング）

- ・学期に2回行う。
- ・1回2時限の計4時限である（1時限は50分）。

・実施日は11月30日(土)、2月22日(土)(各2時限)の予定だが確定ではない(後日連絡)

5. 提出先

・担当者のE-mailアドレス phi411.mitsuru@gmail.com

6. 評価

(課題)	12%/回	×	5回	=	60%
(リーディング)	4%/回	×	5回	=	20%
(進捗状況の確認)	1%/回	×	9回	=	9%
(スクーリング)	5%/回	×	2回	=	10%

	基準	(対応採点)
A, A-	学習の期待値よりも優れている	90-99
B+, B, B-	学習の期待値に達している	80-89
C+, C, C-	学習の期待値に達していない	70-79
D	学習の期待値から非常に劣る	60-69
F	単位を与えることができない	0-59

7. スケジュール

(後期10月15日始業)

11月	(リーディング範囲) 進捗状況報告①11/6(水)②11/20(水) まえがき等 第一章 信仰
	(課題1) 提出期限 11/16(土)  A. まえがき等 聖書解釈に関して、テキストの述べる「伝統」と「信条」と「理性」の意義と課題についてそれぞれ論ぜよ。  B. 1章 信仰と実証主義の関係について、テキストの内容を説明し自らの意見を述べよ。
12月	(リーディング範囲) 進捗状況報告①12/4(水)②12/18(水) 第二章 神 第三章 創造
	(課題2) 提出期限 12/14(土)  A. 2章 人格的な神について考察する意義をブーバーの議論を用いて論ぜよ。  B. 3章 「創造の教理の意味内容」(P116)について、テキストの内容を説明せよ。

<p>1月</p>	<p>(リーディング範囲) 進捗状況報告①1/8 (水) ②1/22 (水)</p> <p>第四章 イエス 第五章 救い</p> <hr/> <p>(課題3) 提出期限 1/11 (土)</p> <p>A. 4章 イエスの示した「メシア」とイエスの時代の一般的「メシア」理解の相違について論ぜよ。</p> <p>B. 5章 「贖罪の諸理論」として挙げられている三つの議論をそれぞれ説明せよ。</p>
<p>2月</p>	<p>(リーディング範囲) 進捗状況報告①2/5 (水) ②2/19 (水)</p> <p>第六章 聖霊 第七章 三位一体</p> <hr/> <p>(課題4) 提出期限 2/8 (土)</p> <p>A. 6章 テキストが提示している聖霊の神性を支持する三つの点を説明し、それぞれの点について説得力があるかどうか述べてよ。</p> <p>B. 7章 三位一体のイメージ化としてよく用いられる「水の三態 (固体、液体、気体)」の類比の問題点について、様態論を通して指摘せよ。</p>
<p>3月</p>	<p>(リーディング範囲) 進捗状況報告①3/4 (水)</p> <p>第八章 教会 第九章 聖礼典(サクラメント) 第十章 天国</p> <hr/> <p>(課題5) 提出期限 3/7 (土)</p> <p>A 8章 テキストが述べる「教会」の「聖」の定義を説明し、自らの意見を述べよ。</p> <p>B 9章 幼児洗礼に関するテキストの三つの議論を説明し、自らの意見を述べよ。</p> <p>C 10章 天の国に関する「今」と「まだ」の緊張関係について論ぜよ。</p>